

東京日本語ボランティア・ネットワーク

日本語 NETWORK NEWS

〈第2回総会臨時号〉

〒162 東京都新宿区神楽河岸1-1 東京ボランティアセンター一気付 TEL 03-3235-1171



発足二年目を迎えて

東京日本語ボランティア・ネットワーク代表 中田 紀子

私たちのネットワークが日本全体を結ぶときは、また地球・宇宙の星と結ばれるのはいつ?など、途方もない未来に向かって構想を描き、自己満足に浸っている。夢は大きく…。まったくその通りである。しかし、現実の足元は?

一年前を振り返ると、そこは“隣は何をする人ぞ”であった。お互い顔と名前も一致しない状態からのスタートであった。だが、毎週顔を合わせ、ともに活動をして行くうちに、これは張り合いのある組織になると私なりに信じ、無役であることを幸いに、あらゆる角度から運営、またその展開の分析にかかった。

気持ちを注ぐほどに、ネットワークは素晴らしい適材適所の人材によって発展して行くのが目に見えて分かる。毎日が楽しく、私なりに力量を発揮する機会がたくさんあった。経験を活かして契約の担当、また(自称)相談役など、ジェット機並のスピードでかかわってきた。役はなくてもボランティアのグループ内では自己の本領発揮は無限に可能であると信じていたので、なんの抵抗もなく過ごしてきた。

さて、途方もない膨大な構想から離れて、第二回総会の現実を見つめた1月14日。ネットワーク代表に選出され、抱負を述べる機会を得た。

今、本ネットワークの充実と発展を願うにあたって、次の言葉を常に意識して代表を務めてゆきたいと思う。「和やかに」「楽しく」「許容の気持ちを広く」「協調の心を持ち」そして、明るく元気に会員の皆様が活動に参加してくださればと心から願うものである。平凡かつありきたりの言葉かもしれないが、私は重要なことだと思う。

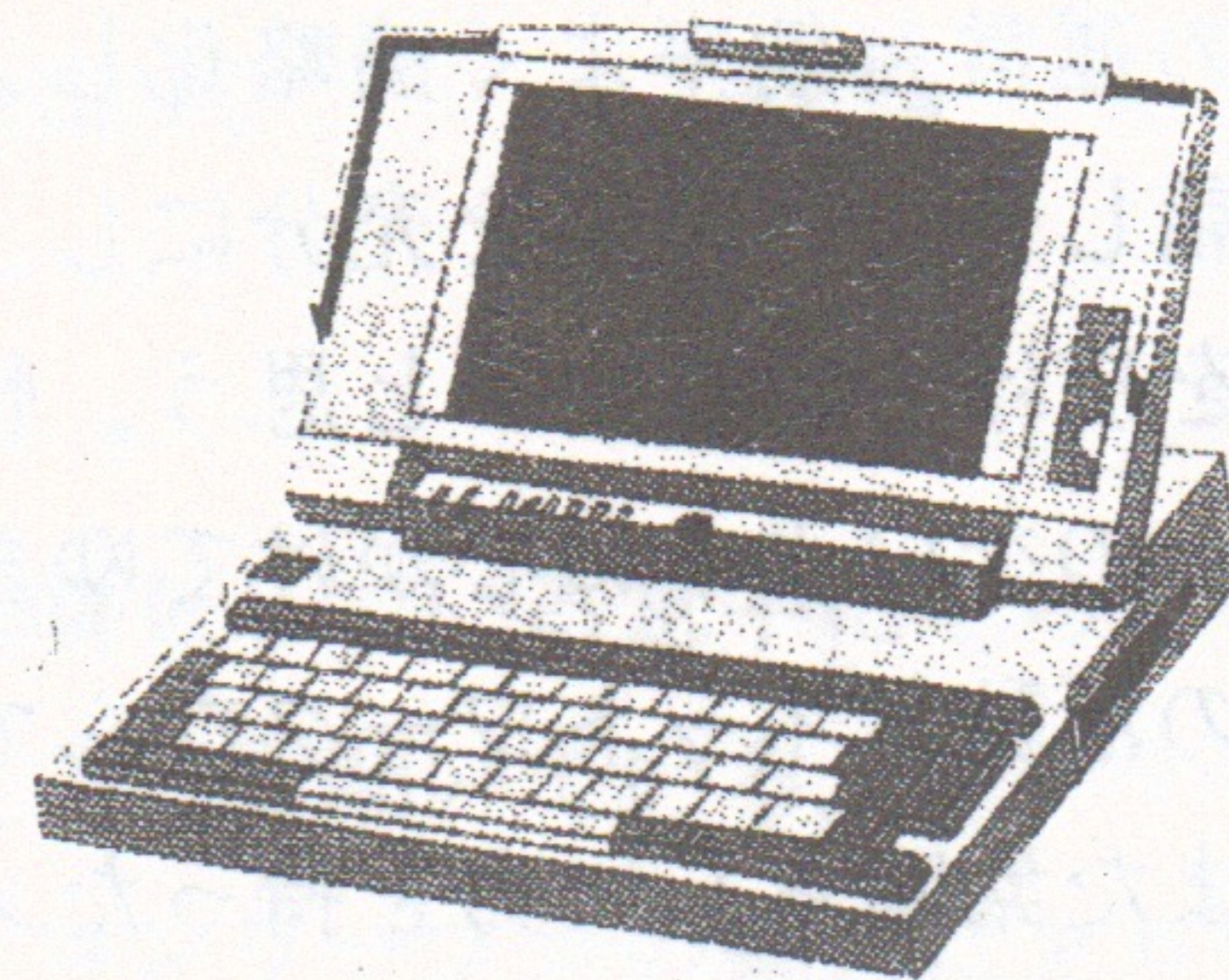
組織の運営も効率よく簡略化し、個人負担・自己犠牲のないように、事に当たっては余裕を持って話し合いの時間を十分にし、多くの意見の中から生まれたテーマを大切にしながら、活動範囲を広げて行きたいと思う。情報の伝達を完璧に、どんな小さな意見・提案・要望にもとりこぼしのないように心がけてゆきたいと思う。

今後の活動もネットワークならではの特性をおおいに活かして、上昇気流にうまく乗れるように、また素晴らしい力を持ったメンバーの知識と能力を軽んずることなく、全国の日本語ボランティアネットワークのモデルを目指して行きたい。以上が、抱負です。

1994年 東京日本語ボランティア・ネットワーク 活動報告

- | | | |
|-----|---------|-------------------------------|
| 1月 | 24日 (月) | 第1回総会 |
| | 24日 (月) | 第1回運営委員会 |
| 2月 | 18日 (金) | 第2回運営委員会 |
| | 28日 (月) | 日本語ネットワーク・ニュース第1号 発行 |
| 3月 | 19日 (土) | 第3回運営委員会 |
| | 19日 (土) | 第1回交流会 (分科会、全体会、懇親会) |
| 4月 | 25日 (月) | 第4回運営委員会 |
| | | 第1回日本語ボランティア講習会 募集 |
| 5月 | 16日 (月) | 第1回日本語ボランティア講習会 (全10回) 開始 |
| | 23日 (月) | 第5回運営委員会 |
| | 30日 (月) | 日本語ネットワーク・ニュース第2号 発行 |
| 6月 | 27日 (月) | 第6回運営委員会 |
| 7月 | 15日 (金) | 第2回日本語ボランティア講習会 (SPF) 準備会 開始 |
| | 18日 (月) | 第1回日本語ボランティア講習会 終了 |
| | 22日 (金) | 第7回運営委員会 |
| | | 第2回日本語ボランティア講習会 (SPF) 募集 |
| | 30日 (土) | 第2回交流会 (全体会、分科会、懇親会) |
| 8月 | | |
| 9月 | 10日 (土) | 第8回運営委員会 |
| | 30日 (金) | 第2回日本語ボランティア講習会 (SPF、全10回) 開始 |
| 10月 | 3日 (月) | 日本語ネットワーク・ニュース第3号 発行 |
| | 17日 (月) | 第9回運営委員会 |
| 11月 | 1日 (火) | 「東京ボランティア日本語教室ガイド」発行 |
| | | 「KDDによる支援プログラム」賛同者カード 配布開始 |
| | 26日 (土) | 第10回運営委員会 |
| 12月 | 2日 (金) | 第2回日本語ボランティア講習会 (SPF) 終了 |
| | 17日 (土) | 第11回運営委員会 |

◆◇◆ 事務局活動日 ◇◇◆
毎週月曜日
於：東京ボランティア・センター



東京日本語ボランティア・ネットワーク 第2回総会報告

1995年1月14日(土) 午後2時
東京ボランティア・センター 学習室

司会：大滝啓子

1、代表挨拶

代表 伊藤 美里

2、議長選出および議長挨拶

議長 久野 富雄

総会成立宣言 出席 32、委任状 61 計 93

総会員145の過半数を越えたので、総会は成立しました。

3、議事録署名人の指名

議事録署名人 藤橋 帥子

4、議事 ①1994年の活動報告

事務局長 林川 玲子

会計報告

会計 山崎美智子

監査報告

監査 福田 知行

②規約改正 説明

改正プロジェクトチーム 渡辺 昌人

改正案に対して2点について変更案が出され、討議の上、新しい規約が決定しました。詳細については、同封の規約をご参照下さい。

③次期役員/監査 選出

団体の推薦と今年度の活動に携わったスタッフの話し合いによって推薦された以下の役員候補が承認されました。

代表 中田 紀子 (多摩市国際交流センター) 多摩市

副代表 清水 正敏 (池袋異文化研究所) 新宿区

アレン美智子 (小平日本語クラブ) 小平市

会計 大野 京子 (フレンド日本語教室) 板橋区

道塚美都子 (協力会員)

事務局長 林川 玲子 (協力会員)

監査 渡辺 昌人 (LTC友の会) 杉並区

挨拶 新代表 中田 紀子

④1995年活動計画案

新事務局長 林川 玲子

1995年予算案

新会計 道塚美都子

5、閉会の挨拶 司会 大滝 啓子

《懇親会》 司会 清水 正敏

来賓紹介、出席者自己紹介等



☆+o+o+o+o+o ネットワーク設立

多くの方のご協力のおかげで、ネットワークは設立一周年を迎えることができました。ここでは、先日の総会で選出された新役員及び監査の方々からのメッセージをご紹介します。

副代表／清水 正敏

ボランティア活動では貴重な存在の四十歳代の会社員です。六年前中国勤務を終えて帰国すると、外国人が多いことにびっくり。外国人とうまくやっていると、日本の将来はないと実感。それには日本語が役割を果たすと強く意識し、中国語と対比しながら日本語を教えようと燃えています。漢語圏からの方々には力が入ります。ネットワーク二年目の今年は、一年を振り返りより良い方向に進めるべく皆様と協力してゆきます。またネットワークのすばらしい存在をアピールするために、積極的に出会いを求めたいと思います。I love Nippon! 我愛日本! 日本大好き! これが私の原点。ここからおじさんパワーを搭載して船出します。

副代表／アレン 美智子

93年11月の「ぼらんていあ・めっせ」開催事前会議からスタッフとして参加して、早1年2か月。ほんとうにあつという間でした。会計の『か』の字も知らない私が、皆様に助けていただきながら務めました。いろいろ不手際があったことをお詫び申し上げます。

今年やってみたいと思っているプロジェクトの一つは、ボランティア日本語教室コーディネーターの養成。もう一つは、外国人ボランティアのネットワーク作りです。まだ私自身ははっきりしたものがあるわけではないので、皆様のご意見を聞きながら形を作りたいと思います。よろしく願いいたします。

会計／大野 京子

去年一年間は、ひたすら皆様から学ばせていただくばかりでした。今年も学びながら、少しでもお役に立てるよう努力するつもりです。



会計／道塚 美都子

昨年後半よりネットワーク事務局に参加し、スタッフの熱心さに圧倒されました。今年は事務局スタッフとして目的を持ち、スタッフとのふれあいを感じながら一年間の役目を果たせたら、と思います。

事務局長／林川 玲子

日本語ボランティアのネットワークは、ボランティアをしたいと日本語教授法の勉強を始めた17年前からの夢でした。昨年は事務局長として関わらせていただき、すばらしい方々との出会いもあり、ほんとうに充実した一年でした。昨年は若葉マークの事務局長で至らないことも多かったため、その反省もこめて事務局をもっと整備するようにと再度機会を与えてくださり、ほんとうにありがたいと思っています。今年は優秀なスタッフの参加で、皆様のご期待に応えられる事務局になれるものと存じます。

誰でも身近な日本語教室に参加できるようガイドマップの教室マークの数をもっと増やすこと、それぞれの日本語教室がよい環境で活動できるようになることなど、さらなる夢に向かって微力ながら尽くしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

監査／渡辺 昌人

昨年度の活動はまだ設立一年ということもあり紆余曲折はあったでしょうが、運営に当たった皆様及び会員の方々の支援により、日本語ガイド・講習会等、かなりの成果を得られたことはほんとうに喜ばしいことと考えます。物事はあせらず一つ一つ積み上げることが大切です。

今年はその実績をふまえて、いよいよ会の基盤づくりに専念できればと考えております。まずは会組織の充実に重点を置き、まだ未登録の団体・個人に働きかけ、名実ともにネットワークとして恥ずかしくないものにしていきたい、それが私の今年の抱負です。

二年目を迎えて

昨年はいくさんの方々のご協力でさまざまなイベントや活動を実現することができました。この一年間に事務局スタッフなどいろいろな形でネットワークの運営に関わった方々のメッセージを紹介します。

◆久野 富雄

第二回総会の際には議長をおおせつかって、たいへん苦勞しました。今後は、よい会に成長してゆくことを期待しています。

◆福田 知行

この一年はネットワークの活動、とくに講習会の準備や実施に関して、さまざまな人と話し合いさまざまなことを考えさせられ、自分自身の不明を知ることができて、有意義な一年だった。今年はそのことを踏まえ、ほんとうの「日本語」の「ボランティア」の「ネットワーク」を考えてみたい。

◆吉田 良子

「家の中もボランティアをして!」と半分本気、半分冗談で言う家族を無視しての会の活動。ワープロの手伝いを少しと思いつつも、スタッフの活動に刺激され、あっという間の一年間でした。今年はい新代表を中心に、会員の要望、スタッフの企画、雑談の中からでてきたアイデアの実現に燃えましょう。

◆田島 信子

第一回講習会への参加をきっかけに、事務局の雑務をお手伝いすることになりました。それまで個人的に日本語ボランティアをやってはいましたが、情報量も少なく、自分のやり方をチェックする手段もありませんでした。ネットワークのおかげで両方を手に入れることができ、なにより人と人とのネットワークや素晴らしい出会いがたくさんありました。それまで日本語ボランティアグループが一つもなかった文京区に6月に「弥生日本語の会」が誕生したのは、林川事務局長やスタッフの方々の労と、ネットワークを生かした人材の結集によるものです。ネットワークが多くのボランティアや日本語学習者の役に立つよう願っています。

◆柴田 正人(東京ボランティアセンター)

結成一周年、心よりお祝いいいたします。これまで私どもでは知ることの難しかった在日外国人の問題やボランティア日本語教室の状況などの貴重な情報を賜り、深くお礼申し上げます。力不足ですが、今後もできる限りのご協力をさせていただきたいと存じます。ご意見・ご要望をいただけましたら幸いです。

◆藤橋 帥子

日本語を教えることは結局は対一の問題ではあっても、その背後のさまざまな状況をより深く、広くとらえていくことが、共有する時間の質を高め、よい人間関係の構築に役立つと日々感じています。ネットワークでの活動を通じて、いろいろな勉強をさせていただいています。

◆大滝 啓子

「What's 日本語ボランティア?」一年間勉強させていただいたおかげで、やっとわかってきました。今年、スタッフの皆さんと楽しみながら、ボランティアの方々のお役に立つ仕事もしたいと思います。

◆橋本 佳子

走りだしたばかりのネットワークは何をしているかが見えづらく、足が遠のいていました。一年目を迎え、ようやく少しづつ見えてきたように思います。「ネットワークはこうでなければ」という型はないはず。今年はい新たなイベントをどんどん実現したいですね。

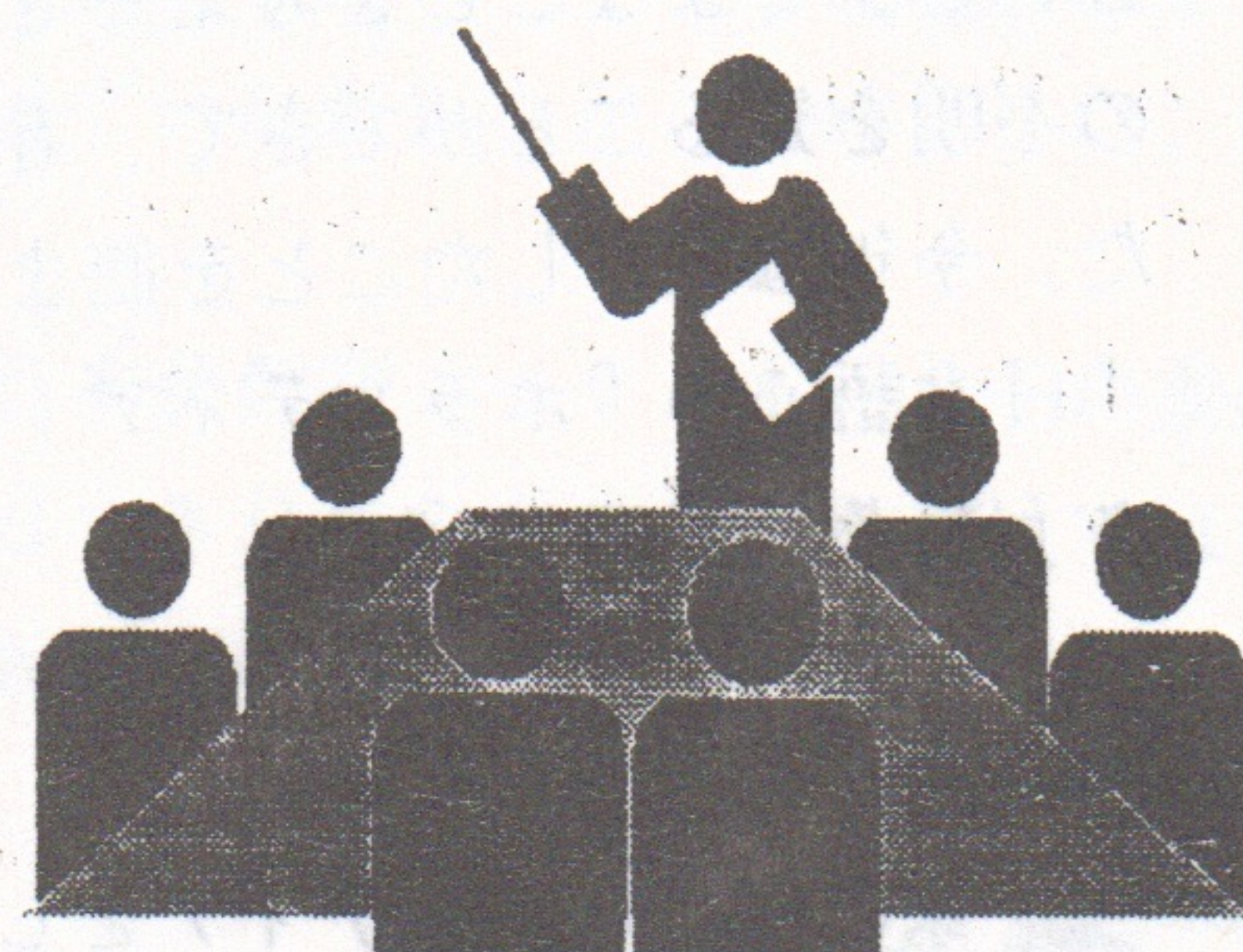
◆前田 恭子

多彩な方々が集うネットワークでの出会いと経験は、私にとって貴重な財産となりました。いろいろあった一年間の活動で、ボランティアのより大きな可能性を感じるすることができました。今年も「自分のための」「楽しい」ボランティアをしたいと思っています。

1995年 東京日本語ボランティア・ネットワーク活動計画

1995年の活動計画は第1回運営委員会において詳しい内容が検討されますが、概要は以下の通りです。1994年に実施したような交流会や講習会、『日本語ガイド』の発行などをはじめ、今年はさらに新たな楽しいイベントにも意欲的にチャレンジしてゆくつもりです。どうぞご期待下さい。

- 1月 総会／役員会／第1回運営委員会
「東京日本語ボランティア・ネットワーク 活動・入会のご案内」印刷
「日本語ネットワーク・ニュース」第2回総会臨時号 発行
- 2月 ぼらんていあ・めっせ
第1回連絡会
「日本語ネットワーク・ニュース」第4号 発行
- 3月 第2回運営委員会
第1回交流会
- 4月 第2回連絡会
- 5月 第3回運営委員会
日本語ボランティア入門講座（5月～7月）
「日本語ネットワーク・ニュース」第5号 発行
- 6月 第3回連絡会
- 7月 第4回運営委員会
「日本語ネットワーク・ニュース」第6号 発行
- 8月 サマー・ワークショップ（合宿講習会）
- 9月 第5回運営委員会
講習会（9月～11月）
- 10月 第4回連絡会
第2回交流会
「日本語ネットワーク・ニュース」第7号 発行
- 11月 「ボランティア日本語教室ガイド」（改訂版）発行
第6回運営委員会
- 12月 全体会



*交流会、講習会、その他イベントの予算は、昨年同様、本会計とは別にそれぞれ計上いたします。

◆□◆事務局活動日◆◇◆

毎週月曜日、ボランティア・センター7Fで活動しています。
お問い合わせ、ご相談などお受けしますので、電話連絡の上、
お越し下さい。 TEL 03-3235-1171

Network Information

KDDのサポートプログラムにご協力を！

すでにお知らせしたように、KDD国際電信電話㈱による東京日本語ボランティアネットワークのサポートプログラムがスタートしました。会員のみなさんのご協力のおかげで、これまでにすでに200通近くの賛同者カードが届いています。

国際電話を利用する友人・知人などにも呼びかけていただいて、今後もより一層のご協力をお願いいたします。

なお、先日お送りした賛同者カードが足りなくなった場合は、事務局までハガキかファックスでお知らせいただければ、こちらからお送りいたします。

*連絡先/〒162 東京都新宿区神楽河岸1-1 東京ボランティア・センター気付

東京日本語ボランティア・ネットワーク事務局 FAX/03-3235-0050

『ぼらんていあ・めっせ・東京』開催！

今年も東京社会福祉協議会と東京ボランティア・センターの主催による『ぼらんていあ・めっせ・東京』が、2月10日（金）から2月12日（日）までの3日間、飯田橋のセントラルプラザ内会議室や東京都社会福祉総合センター（東京ボランティア・センターのビル）を会場に開催されることになりました。

2月11日（土）・2月12日（日）の2日間（午前10時～午後4時）は当ネットワークもボランティア活動相談コーナーを開設します。当日は『ボランティア日本語教室ガイド』の販売や、ネットワーク活動案内パンフレットの配布、日本語ボランティアにまつわる相談などに応じます。時間と興味のある方はぜひお立ち寄りください。

ネットワーク連絡会開催のお知らせ

先日の総会におけるネットワークの規約改正にともなって、今年から新たに連絡会がスタートすることになりました。この連絡会は、会員のみなさんに自由に話し合っていていただいて、ネットワーク活動への意見や情報を交換するためのものです。どなたでも自由に参加していただけるミーティングですので、ぜひお気軽にご参加ください。

*日時/2月20日（月） 午後2時～4時まで

*場所/東京ボランティア・センター 学習室A

なお今後の連絡会は、偶数月（8月を除く）の第3月曜日に開催を予定しています。ひとりでも多くの会員のみなさんのご参加をお待ちしています。

Bulletin Board

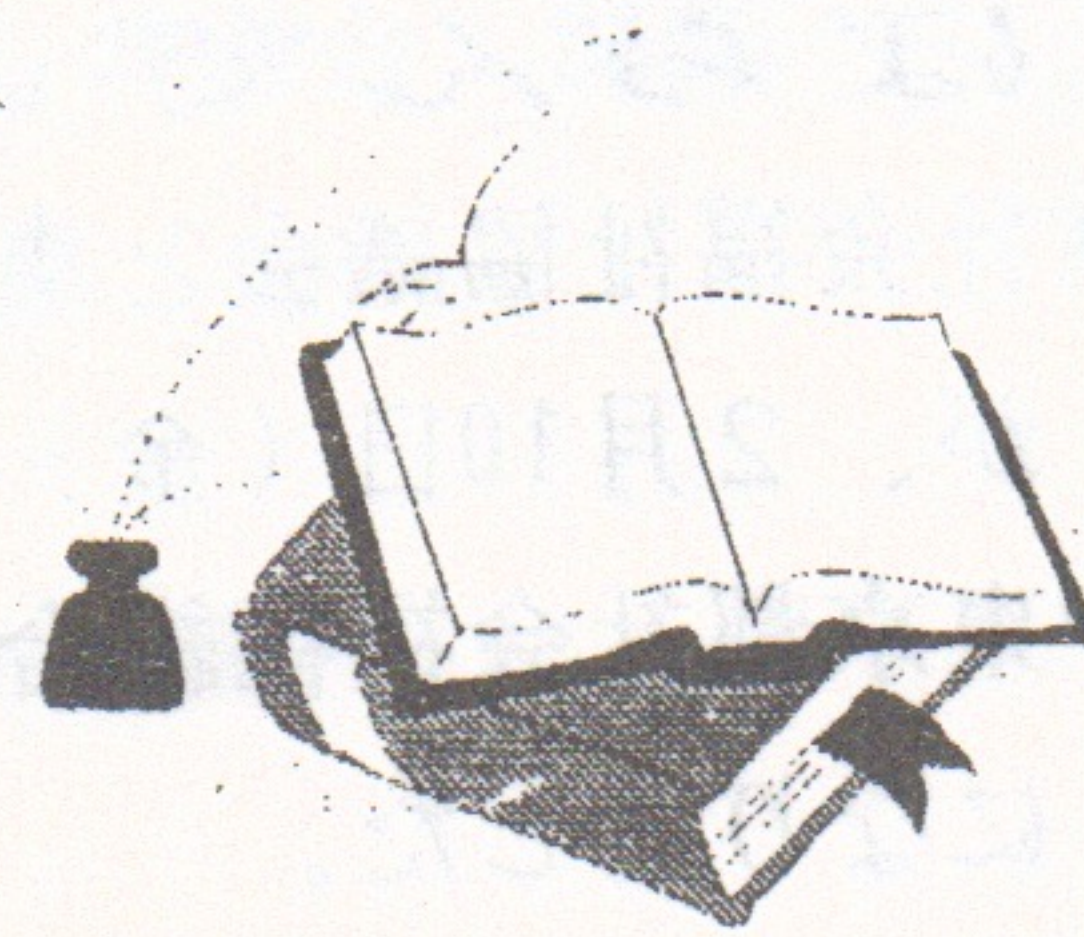
日本人のコミュニケーションを考える会 《つまみ食い外国語セミナー第三回》

- *日時 2月19日(日) 午後3時~5時
- *会場 東京語文学院(池袋駅西口より徒歩3分)
- *テーマ 「ああ、永遠の勘違い!伝わらないのは誰のせい?」
日本人と外国人の間の深い溝 異文化コミュニケーションがテーマ
- *ゲスト アントン・バーガス(オランダ)、張英華(中国)
- *コメンテーター 鈴木武生
- *参加費 会員/2,500円、非会員/3,000円
- *問い合わせ・申し込み 日本人のコミュニケーションを考える会 小林佐保里
TEL/FAX 044-911-8081

会費納入のお知らせ

1月より年度が変わりました。年会費を納入下さい。

- 団体会員 3,000円
 - 協力会員(個人) 2,000円
 - 賛助会員 1口 10,000円 (1口以上)
- 郵便振替口座番号 00100-1-719259
東京日本語ボランティア・ネットワーク



編集後記

阪神大震災被災地の皆様にお見舞いを申し上げますとともに、
一日も早い復興を心からお祈りいたします。

先日の阪神大震災では、被害の大きさと無残な惨状に人間の無力さを思う一方、さまざまな分野でさまざまな人たちが被災者をサポートする姿に、あらためてボランティア活動の可能性の大きさを感じました。そして、いろいろな意味で『ネットワーク』の重要性を再認識させられたできごとでもありました。

義援金をはじめとする被災者の支援については、すでに多くのみなさんが心をくわいていることと思いますが、自分たちに今できることをもう一度考えてみたいと思います。



「お母さん、なかなか覚えないネエ。」

その昔、私が言った言葉を、今では一人で大学生になったような顔をしている息子にそっくり返され、それでも「ここは素直に習うが勝ち」とばかりにおとなしく言うことを聞いている。

工夫次第で天文学的な数字にのぼる種類のデザインができるパソコンワープロの魅力にとりつかれている。こんなすてきなチャンスに恵まれたことを感謝しています。

